

第 242 回 企画展示

童謡・わらべ歌の世界

～ 児童雑誌「赤い鳥」創刊 100 年によせて ～



※ 「赤い鳥」大正 8 年 7 月号

【期日】平成30年6月1日(金)～7月30日(月)

【会場】石川県立図書館 3階 閲覧室

石川県立図書館

展示によせて

大正7(1918)年7月に鈴木三重吉の編集による児童雑誌「赤い鳥」が創刊されてから今年でちょうど100年となります。「赤い鳥」は、西条八十や北原白秋らの童謡詩人を輩出し、今日に到るまでの日本の童謡の礎を築いたと言われています。それまでの唱歌が中心だった子どもの歌の現状に対する批判から出発し、「童謡」という言葉に、子どもに向けて創作された芸術的香気の高い歌謡という意味を与えました。

また「赤い鳥」の創刊に刺激を受けて、大正時代には「金の船」「童話」「おとぎの世界」などの雑誌が次々と刊行され、それらの編集者・童謡詩人・作曲家・受け手である子どもたちなど多様な人々を巻き込んで、童謡はひとつの社会現象にまで発展しました。

昭和時代に入り、大衆化されたレコードからヒット曲が生まれる中、分かりやすさや歌いやすさを重視したレコード童謡が生まれました。戦後はラジオ・テレビなどのマス・メディアを使って、幼児向け歌番組などで新しい童謡が人々に届けられるようになります。

今回の展示では、「赤い鳥」の原誌を始め、当時の児童雑誌や図書の復刻本などを紹介します。また童謡のほかに、古くから親しまれてきたわらべ歌の本を展示します。

小さな者への愛にあふれ、人々の心に懐かしさが甦る歌、心の故郷とも言える童謡・わらべ歌の世界を、この機会にどうぞ味わってください。

石川県立図書館

※ 原則として出版年順に紹介しています
 ※ 展示ケース内に展示のものは、備考欄に○を
 付けてあります

☆ 「赤い鳥」の世界

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	赤い鳥 第5巻第1号(大正9年7月)	鈴木 三重吉 編輯	赤い鳥社	1920. 7	051/7-5-1/勝尾文庫	○
2	赤い鳥 第6巻第1号(大正10年1月)	鈴木 三重吉 編輯	赤い鳥社	1921. 1	051/7-6-1/勝尾文庫	○
3	赤い鳥 第11巻第1号(大正12年7月)	鈴木 三重吉 編輯	赤い鳥社	1923. 7	051/7-11-1/勝尾文庫	○
4	赤い鳥 第13巻第1号(大正13年7月)	鈴木 三重吉 編輯	赤い鳥社	1924. 7	051/7-13-1/勝尾文庫	○
5	「赤い鳥」童謡 第1集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-1	○
6	「赤い鳥」童謡 第2集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-2	○
7	「赤い鳥」童謡 第3集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-3	○
8	「赤い鳥」童謡 第4集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-4	○
9	「赤い鳥」童謡 第5集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-5	○
10	「赤い鳥」童謡 第6集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-6	○
11	「赤い鳥」童謡 第7集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-7	○
12	「赤い鳥」童謡 第8集	鈴木 三重吉 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/B-8	○
13	「赤い鳥」童謡 別冊解説	ほるぷ出版 編	ほるぷ出版	1980. 10	918. 6/353/K	○
14	赤い鳥童謡集(叢書日本の童謡)	北原 白秋 編	大空社	1997. 3	J911. 5/1220/35	○
15	<赤い鳥>をつくった鈴木三重吉(児童文学をつくった人たち6)	鈴木 三重吉 著 小島 政二郎 著	ゆまに書房	1998. 6	J910. 26/10042/6	○

☆ 大正時代の児童雑誌(復刻版)から

No	タイトル	原誌発行者 発行年	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	童話 第1巻 第1号	コドモ社 1920	岩崎書店	1982	J913. 8/72/1-1-9	○
2	童話 第5巻 第3号	コドモ社 1925	岩崎書店	1982	J913. 8/72/5-1-12	○
3	童話 第7巻 第4号	コドモ社 1926	岩崎書店	1982	J913. 8/72/7-1-7	○
4	金の船=金の星 第1巻 第1号	キンノツノ社 1919	ほるぷ出版	1983	J051. 8/3/1-1	○
5	金の船=金の星 第2巻 第9号	キンノツノ社 1920	ほるぷ出版	1983	J051. 8/3/2-9	○
6	金の船=金の星 第3巻 第7号	キンノツノ社 1921	ほるぷ出版	1983	J051. 8/3/3-7	○
7	おとぎの世界 第1年 第1号	文光堂 1919	岩崎書店	1984. 4	J913. 8/77/1-1	○

No	タイトル	原誌発行者 発行年	出版者	出版年月	請求記号	備考
8	おとぎの世界 第2年 第5号	文光堂 1920	岩崎書店	1984. 4	J913. 8/77/2-5	○
9	おとぎの世界 第4年 第10号	文光堂 1922	岩崎書店	1984. 4	J913. 8/77/4-10	○

※No. 4-6『金の船=金の星』の誌名について、大正11年刊行の4巻6号から「金の船」は「金の星」に誌名変更され、上記3点の誌名は「金の船」です。

☆ 童謡を味わおう

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	おはなしゆびさん	香山 美子 著 杉浦 範茂 絵	国土社	1976. 1	911/コ	
2	サトウハチロー童謡集	サトウ ハチ ロー 著	弥生書房	1977. 4	911. 58/10044	
3	名著複刻日本児童文学館 第 1集[9] トンボの眼玉 (北 原白秋)		ほるぷ出版	1978	918. 6/309/1-9	○
4	名著複刻日本児童文学館 第 1集[12] 十五夜お月さん (野口雨情)		ほるぷ出版	1978	918. 6/309/1-12	○
5	名著複刻日本児童文学館 第 1集[17] 日本童謡撰 あや とりかけとり (竹久夢二)		ほるぷ出版	1978	918. 6/309/1-17	○
6	名著複刻日本児童文学館 第 1集[19] 西條八十童謡全集 (西條八十)		ほるぷ出版	1978	918. 6/309/1-19	○
7	名著複刻日本児童文学館 第 1集[25] 赤い旗 (榎本楠 郎)		ほるぷ出版	1978	918. 6/309/1-25	○
8	ともだちシンフォニー 佐藤 義美童謡集	佐藤 義美 著	JULA出版局	1990. 3	911/サ	
9	赤い鳥小鳥 (カワイの絵本童 謡 1)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 7	76/カ/1	
10	しゃぼん玉 (カワイの絵本童 謡 2)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 8	76/カ/2	
11	七つの子 (カワイの絵本童謡 3)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 3	76/カ/3	
12	夕焼小焼 (カワイの絵本童謡 4)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 9	76/カ/4	
13	どんぐりころころ (カワイの 絵本童謡 5)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 10	76/カ/5	
14	めだかがっこう (カワイの 絵本童謡 6)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 4	76/カ/6	
15	ぞうさん (カワイの絵本童謡 7)	友竹 正則 お はなし	河合楽器製 作所・出版 事業部	1990. 2	76/カ/7	

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
16	サッチャン (カワイの絵本童謡 8)	友竹 正則 おはなし	河合楽器製作所・出版事業部	1990. 6	76/カ/8	
17	小鳥のうた (カワイの絵本童謡 9)	友竹 正則 おはなし	河合楽器製作所・出版事業部	1990. 2	76/カ/9	
18	あめふりくまのこ (カワイの絵本童謡 10)	友竹 正則 おはなし	河合楽器製作所・出版事業部	1990. 5	76/カ/10	
19	NHK日本のうたふるさとのうた100曲	「日本のうたふるさとのうた」全国実行委員会 編	講談社	1991	767. 7/10092	
20	日本童謡集 (ワイド版岩波文庫)	与田 準一 編	岩波書店	1994. 5	081. 6/149/136	
21	めだかの学校 茶木滋童謡詩集 (美しい日本の詩歌2)	茶木 滋 著	岩崎書店	1995. 7	911/チ	
22	ぞうさん・くまさん まどみちお詩集 (美しい日本の詩歌5)	まど みちお 著	岩崎書店	1995. 10	911/マ	
23	夕日がせなかをおしてくる 阪田寛夫童謡詩集 (美しい日本の詩歌7)	阪田 寛夫 著	岩崎書店	1995. 12	911/サ	
24	お日さま (叢書日本の童謡)	三木 露風 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/8	○
25	よしきり (叢書日本の童謡)	山村 暮鳥 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/9	○
26	鸚鵡の唄 (叢書日本の童謡)	川路 柳虹 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/10	○
27	赤彦童謡集 (叢書日本の童謡)	島木 赤彦 著	大空社	1997. 3	J911. 5/1220/11	○
28	小さな鶯 (叢書日本の童謡)	若山 牧水 著	大空社	1997. 3	J911. 5/1220/12	○
29	銀の鈴 (叢書日本の童謡)	相馬 御風 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/14	○
30	歌時計 (叢書日本の童謡)	水谷 まさる 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/15	○
31	鹿島鳴秋童謡小曲集 (叢書日本の童謡)	鹿島 鳴秋 著	大空社	1997. 3	J911. 5/1220/21	○
32	雪と驢馬 (叢書日本の童謡)	巽 聖歌 著	大空社	1997. 3	J911. 5/1220/26	○
33	えのころぐさ (叢書日本の童謡)	真田 亀久代 著	大空社	1996. 9	J911. 5/1220/33	○
34	琅玕集 童謡・小曲 上	金子 みすゞ 編	JULA出版局	2005. 1	911. 58/10036/1	
35	琅玕集 童謡・小曲 下	金子 みすゞ 編	JULA出版局	2005. 1	911. 58/10036/2	
36	靴が鳴る 清水かつら童謡集	清水 かつら 著 竹久 夢二 絵 上 笙一郎 編 別府 明雄 編	ネット武蔵野	2008. 3	911. 58/10056	
37	この道はいつか来た道	北原 白秋 詩	童話屋	2009. 1	911. 58/10058	
38	でんでらりゅうば 歌って日本をかんじよう (NHK Eテレ「にほんごであそぼ」)	NHK Eテレ「にほんごであそぼ」制作班 編	金の星社	2014. 3	816/ニ	

☆ 童謡詩人・作曲家・歌手たち

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	月と兵隊と童謡 若き詩人の遺稿	結城 よしを 著	三省堂	1968. 1	081. 6/103/17	
2	十五夜お月さん 本居長世人と作品	金田一 春彦 著	三省堂	1983. 3	762. 1/29	
3	みかんの花咲く丘 子一歌とその時代 川田正	恋塚 稔 著	東京書籍	1984. 10	767. 7/10011	
4	あの時、この歌	由紀 さおり 著 安田 祥子 著	東京書籍	1995. 4	767. 8/73	
5	野口雨情童謡の時代	東 道人 著	踏青社	1999. 6	911. 52/10024	
6	与田準一論 童謡と少年詩	畑島 喜久生 著	リトル・ガリヴァー社	2000. 4	J911. 52/10029	
7	菜の花畑に入り日うすれ 童謡詩人としての高野辰之	三田 英彬 著	理論社	2002. 5	911. 58/10016	
8	お猿のかごや 作詞家・山上武夫の生涯	神津 良子 [著]	郷土出版社	2004. 7	911. 58/10033	
9	童謡詩人金子みすゞ いのちとところの宇宙	矢崎 節夫 監修	JULA出版局	2005. 1	911. 58/10037	
10	北原白秋	三木 卓 著	筑摩書房	2005. 3	911. 52/10104	
11	月夜の詩人吉川行雄	矢崎 節夫 著	てらいんく	2007. 8	911. 58/10053	
12	三木露風の歩み 三鷹で暮らした「赤とんぼ」の詩人	三鷹市芸術文化振興財団 編集	三鷹市芸術文化振興財団	2007. 11	911. 52/10144	
13	夏がくれば思い出す一評伝・中田喜直	牛山 剛 著	新潮社	2009. 4	762. 1/10125	
14	父・西條八十の横顔	西條 八束 著 西條 八峯 編	風媒社	2011. 7	911. 52/10196	
15	「あの子はたあれ」の童謡詩人 細川雄太郎	夕住 凜 著	サンライズ出版	2015. 10	911. 5/10251	

☆ 童謡を知る・考える

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	童謡歳時記 児童文学研究シリーズ	藤田 圭雄 著	牧書店	1970. 12	909. 1/13	
2	童謡のふるさと	上 笙一郎 [著]	理論社	1975. 6	911. 5/617	
3	日本童謡史 1	藤田 圭雄 著	あかね書房	1984. 7	J388. 9/78/1	
4	日本童謡史 2	藤田 圭雄 著	あかね書房	1984. 7	J388. 9/78/2	
5	童謡でてこい	阪田 寛夫 著 津田 櫓冬 画	河出書房新社	1986. 2	911. 58/10003	
6	童謡の散歩道	藤田 圭雄 著	日本国際童謡館	1994. 10	911. 5/1126	
7	童謡歌手からみた日本童謡史	長田 暁二 著	大月書店	1994. 11	767. 7/31	
8	心の虹 詩人のふるさと紀行	増田 れい子 著	労働旬報社	1996. 8	911/84	
9	近代の童謡作家研究	滝沢 典子 著	翰林書房	2000. 2	J911. 58/10038	

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
10	「金の船」ものがたり 童謡 を広めた男たち	小林 弘忠 著	毎日新聞社	2002. 3	J913. 6/17102	
11	声の力 歌・語り・子ども	河合 隼雄 [ほか] 著	岩波書店	2002. 4	767/10006	
12	日本童謡音楽史	小島 美子 著	第一書房	2004. 10	767. 7/10063	
13	もっと好きになる日本の童謡	池田 小百合 著	有楽出版社	2004. 11	911. 58/10035	
14	名作童謡ふしぎ物語	上田 信道 著	創元社	2005. 1	767. 7/10068	
15	図説童謡唱歌の故郷を歩く	井筒 清次 著	河出書房新社	2006. 4	767. 7/10073	
16	日本の童謡 誕生から90年の 歩み	畑中 圭一 著	平凡社	2007. 6	911. 58/10052	
17	唱歌のふるさと童謡のくに	佐山 哲郎 著	浄土宗	2008. 3	767. 7/10081	
18	童謡のふるさとを訪ねて 学 びやぶっく62	横山 太郎 著	明治書院	2011. 12	767. 7/10091	
19	赤とんぼはなぜ竿の先にとま るのか? 童謡・唱歌を科学す る	稲垣 栄洋 著	東京堂出版	2011. 8	404/10257	
20	童謡の近代 メディアの変容 と子ども文化	周東 美材 著	岩波書店	2015. 10	767. 7/10103	
21	童謡の百年 なぜ「心のふ るさと」になったのか (筑摩 選書 0157)	井手口 彰典 著	筑摩書房	2018. 2	767. 7/10105	

☆ 郷土と日本のわらべ歌

No	タイトル	著者名	出版者	出版年月	請求記号	備考
1	江沼郡手毬唄集	山下 久男 編	山下久男	1934. 4	K916/10	○
2	小松郷土唄集	小野寺 松雪堂 編	むかしの小 松刊行頒布 会	1950. 4	K767/1025	○
3	金沢のわらべ唄と民謡 (金 沢市口頭伝承調査報告書)	金沢口承文芸研 究会 編 小林 輝治 監修	金沢市教育 委員会	1981. 3	K388/1038/2	○
4	七尾の民謡と童唄	七尾の民謡と童 唄編集委員会 編	七尾市教育 委員会	1983. 5	K388. 9/12	○
5	石川のわらべ歌 (日本わら べ歌全集10上)	小林 輝治 著 浅野 建二 [ほか] 監修	柳原書店	1986. 11	K388. 9/16/1	○
6	にほんのわらべうた 1 うめとさくら		福音館書店	2001. 4	J376. 1/10125/ 1	
7	にほんのわらべうた 2 すずめすずめ		福音館書店	2001. 4	J376. 1/10125/ 2	
8	にほんのわらべうた 3 おてぶしてぶし		福音館書店	2001. 4	J376. 1/10125/ 3	
9	にほんのわらべうた 4 楽譜とCD		福音館書店	2001. 4	J376. 1/10125/ 4	
10	日本のわらべうた 戸外遊戯 歌編	尾原 昭夫 編 著	文元社	2009. 11	767. 7/10084/1	
11	日本のわらべうた 歳事・季 節歌編	尾原 昭夫 編 著	文元社	2009. 4	767. 7/10084/2	
12	日本のわらべうた 室内遊戯 歌編	尾原 昭夫 編 著	文元社	2009. 12	767. 7/10084/3	

大正時代(「赤い鳥」創刊以降)の童謡略年表

※ 童謡名は「」、雑誌名は『』で表示してあります
 ※ 童謡の作曲者については省略しました

西暦	和暦	主な事項	社会の動き
1918	大正7	7月 鈴木三重吉ら『赤い鳥』(赤い鳥社)創刊 10月 北原白秋「赤い鳥小鳥」(『赤い鳥』) 11月 西條八十「かなりや」(初出は「かなりあ」)(『赤い鳥』) ☆ 「かなりや」「宵待草」流行	8月 富山で米騒動 11月 第一次世界大戦終結
1919	大正8	4月 『おとぎの世界』(文光社)創刊 北原白秋「あわて床屋」(『赤い鳥』) 7月 こども雑誌『(女子文壇社)創刊 11月 『金の船』(キンノツノ社)創刊 清水かつら「靴が鳴る」(『少女号』) ☆ 「お山のお猿」「靴が鳴る」「浜千鳥」流行	1月 パリ講和会議開催
1920	大正9	1月 『少年少女譚海』(博文館)創刊 4月 清水かつら「叱られて」(『少女号』) 『童話』(コドモ社)創刊 7月 『こども雑誌』廃刊 9月 野口雨情「十五夜お月」(『金の船』) 11月 『赤い鳥の本』シリーズ(赤い鳥社 全13冊)刊行開始 ☆ 「叱られて」「赤い鳥小鳥」「十五夜お月」「あわて床屋」流行 ☆ 本居みどり「十五夜お月」を歌い童謡歌手第1号となる	1月 国際連盟発足 5月 初のメーデー開催
1921	大正10	1月 『金の塔』(大日本仏教コドモ会)創刊 4月 藤森秀夫「めえめえ兎山羊」(『童話』) 6月 浅原鏡村「てるてる坊主」(『少女の友』) 7月 野口雨情「七つの子」(『金の船』) 8月 三木露風「赤蜻蛉」(『樗の実』) 10月 青木存義「どんぐりころころ」(『かわいい唱歌』) 12月 野口雨情「青い目の人形」(『金の船』) ☆ 童謡最盛期となる	11月 原敬首相暗殺
1922	大正11	1月 『童謡』(日本童謡協会)創刊 『コドモノクニ』(東京社)創刊 6月 『金の船』が『金の星』に改題 7月 野口雨情「黄金虫」(『金の塔』) 9月 北原白秋「砂山」(『小学女生』) 11月 野口雨情「しゃぼん玉」(『金の塔』) ☆ 日本童話協会設立、童話雑誌ピークとなる	3月 全国水平社結成 12月 ソビエト社会主義共和国連邦誕生
1923	大正12	1月 『少女倶楽部』(大日本雄弁会)創刊 3月 加藤まさ「月の沙漠」(『少女倶楽部』) 7月 中村雨紅「夕焼小焼」(『あたらしい童謡』) 12月 関東大震災の影響で雑誌一斉休刊 ☆ 「春よ来い」「どこかで春が」「背くらべ」「おもちゃのマーチ」流行	9月 関東大震災発生
1924	大正13	3月 金子みすゞ「大漁」(『童話』) 7月 北原白秋「からたちの花」(『赤い鳥』) 12月 野口雨情「證城寺の狸囃子」(『金の星』)(大正14年1月改作) ☆ 「からたちの花」「兎のダンス」「あの町この町」流行	ラジオ放送開始
1925	大正14	3月 野口雨情「雨降りお月さん」(『コドモノクニ』) 5月 北原白秋「ベチカ」(『子どもの村』) 12月 野口雨情「俵はごろごろ」(『金の星』)	4月 治安維持法公布 5月 普通選挙法公布
1926	大正15	1月 『幼年倶楽部』(大日本雄弁会)創刊 6月 『童話』終刊 8月 北原白秋「この道」(『赤い鳥』)	8月 日本放送協会設立 12月 「昭和」と改元

※ 参考文献: 「大正時代の童謡運動略史」(『金の船』ものがたり p308-310)
 「童謡唱歌主要年表」(『童謡唱歌の故郷を歩く』p108-109)
 『日本児童文学史年表1(講座日本児童文学別巻)』(鳥越信編 明治書院)
 『日本童謡集(岩波文庫)』(与田準一編 岩波書店)
 日本の子どもの文学関連年表-国立国会図書館国際子ども図書館
www.kodomo.go.jp/jcl/chronology/index.html

第 242 回 企画展示

「童謡・わらべ歌の世界

～ 児童雑誌「赤い鳥」創刊 100 年によせて ～」 展示目録

平成30年6月1日 発行

編集 石川県立図書館展示委員会

発行 石川県立図書館